

第 7 次東海市総合計画基本構想素案へのパブリックコメントに関する意見の概要及び市の対応の方向性について（案）

意見該当箇所	意見の概要	意見に対する市の対応の方向性（案）
第 1 編 総論 1 策定の意義 P1	<p>第 6 次総合計画の将来都市像「ひと 夢 つなぐ 安心未来都市」は、自己陶酔的な表現で、未来の都市のイメージが浮かびにくい。</p> <p>また、五つの理念（安心、快適、いきいき、ふれあい、活力）について、「安心」よりも「安全」のほうが優先しないだろうか。</p>	<p>第 7 次総合計画の将来都市像は、市民等に参加いただいた「とうかい未来づくり会議」において出された 10 年後のまちの姿や未来のまちづくりに向けた意見等をもとに検討を進め、流行り廃りのない老若男女問わず分かりやすい表現として「ともにつながり 笑顔と希望あふれるまち とうかい」と定め、市民や地域、団体など多様な主体によって“つながり”の輪を広げ、市民一人ひとりの笑顔と希望があふれるまちを展望しています。</p> <p>また、五つの理念のうち「安心」は、東海市まちづくり基本条例に定める 5 つのまちづくりの基本理念の一つである「安心して暮らせるまちづくり」として、「みんなが安全に、不安なく生活しているまち」を表現し、「安全」についても包含しています。</p> <p>なお、第 7 次総合計画では、5 つのめざすまちの姿の一つとして、「安心・安全で快適に暮らせる都市機能が充実している」としています。</p>
第 1 編 総論 3 東海市を取り巻く社会動向 P3～P6	<p>「1. 全国的な人口減少と少子化・高齢化の進行」について、孤立する世帯は急速に増加すると考えるため、今から考えないといけない。</p> <p>日本では、日本語の通じない外国人の住む区域のある都市もあり、いろいろ問題があるようです。その先進都市を視察して、問題点や対応を考えてほしい。特に外国人と住民とのトラブルや感情的な問題を一番心配している。</p> <p>「2. SDGs の実現やカーボンニュートラルの推進による持続可能な社会に向けた取り組みの拡大」について、市の物品で不要になったもので、まだ使用可能なものは、オークションサイト等に出すべきである。</p> <p>「2. SDGs の実現やカーボンニュートラルの推進による持続可能な社会に向けた取り組みの拡大」について、「誰一人取り残さない」とは、どういうことなのか。</p> <p>「3. 地域経済を取り巻く構造と企業に求められる役割の変化」について、環境や労働環境も大きく変化し、国際化の波はどんどん押し寄せてくると思います。公務員が一番変化に鈍感で前例踏襲、現状維持と言われたいようにしてほしい。</p> <p>「6. 安心して暮らし続けられる地域づくり」について、第 7 次東海市総合計画の策定に関する市民意識調査では、東海市への居住意向について、65 歳～74 歳で 58.9%、75 歳以上で 71%が「いつまでも住み続けたい」と言っています。またこれからのまちづくりに重要と思う施策について、「高齢者の保健・介護・福祉サービスの充実」が入っています。</p> <p>訪問看護事業をするなかで、医療依存度の高い方のデイサービスの利用が困難であったり、家族の方介護疲れなどで高齢者の方々が在宅での療養や見取りをあきらめなければならない現状があります。知多北部広域連合の第 8 期介護保険事業計画の地域密着型サービスの中では、「介護小規模多機能型居宅介護がなく、その充実が求められています。」とあり、東海市を支えてきた高齢者が、住み慣れたまちでいつまでも住み続けられるよう、「泊り」「通い」「訪問介護」「訪問看護」に即時対応できる看護小規模多機能型居宅介護事業所を整備してほしい。</p>	<p>社会的に孤立する世帯への対応として、「第 1 編 総論 6 第 7 次総合計画におけるまちづくりの視点」の「地域づくりの視点」に記載のとおり、福祉サービスの向上や地域共生社会の実現、地域運営体制の構築を推進するなど、共に支え合う地域社会づくりを努めることとしています。</p> <p>また、本市においても近年、外国にルーツを持つ市民は増加傾向にあることなどから、「第 2 編 基本構想 5 めざすまちの姿」の「3. 人と人との絆を育み、だれもが役割を持ち支え合っている【地域づくり分野】」において、人種・国籍、性別、年齢、障害の有無などに関わらず理解を深め、連携・協力しながら暮らせる地域共生社会の構築を図ることとしています。</p> <p>総合計画の総論・基本構想は、東海市における市全体のまちづくりの方向性や都市像を示すものであり、具体的な取り組みについては記載しません。</p> <p>なお、いただいた御意見は、今後の具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。</p> <p>「誰一人取り残さない」は、SDGs の理念であり、だれもが平等に恩恵を受け、差別や貧困などの問題を解決し、社会全体が発展することを目指すもので、社会のあらゆる階層や地域で包括的な発展と平等を推進し、持続可能な社会を築くための重要な考え方です。</p> <p>国際情勢や景気動向などの影響のなか、地域経済が持続的な発展のため、競争力の維持、向上が求められており、これらの変化する社会情勢に的確に対応し、5 つのめざすまちの姿の実現に向けて、行政だけではなく、市民や地域、団体、事業者等との協働・共創や効率的で効果的な施策の展開によりまちづくりを進めます。</p> <p>総合計画の総論・基本構想は、東海市における市全体のまちづくりの方向性や都市像を示すものであり、具体的な取り組みについては記載しません。</p> <p>なお、いただいた御意見は、今後の具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。</p>

意見該当箇所	意見の概要	意見に対する市の対応の方向性（案）
<p>第1編 総論 3 東海市を取り巻く社会動向 P3～P6</p>	<p>「6．安心して暮らし続けられる地域づくり」について、東海市の防災マップは現状と違っている。正しく訂正すべきである。</p>	<p>いただいた御意見は、総合計画に直接関係がない内容のため、本計画には反映しません。</p>
	<p>「6．安心して暮らし続けられる地域づくり」について、「安心」よりも「安全」という言葉のほうが良いのではないか。</p>	<p>「6．安心して暮らし続けられる地域づくり」については、本文のなかで、防災・減災力の向上や消防・救急の強化、防犯・交通安全の取り組みのほか、福祉サービスの向上や地域で見守り支え合う地域共生社会の構築に関する内容も含めており、これらの内容を包含し、「安心して暮らし続けられる」と表現しています。</p>
	<p>「7．未来技術の導入と展開による社会変革」について、私はAIや情報化社会から完全に切り残されてしまったと思っています。ますます進展する情報化時代に、行政の方々も大変な時代だと思います。</p>	<p>デジタル技術を活用しながら、市民や事業者にとって利便性の高い行政サービスの提供と効率的な行政運営を推進するとともに、人に優しいデジタル社会において、市民一人ひとりが日常生活のなかでデジタル機器を活用し、情報格差が生じないよう「第2編 基本構想 6 基本構想の推進」の「2．効率的で効果的な行政経営の確立」に、行政推進項目として「自治体DXを推進する」こととしています。</p>
	<p>「7．未来技術の導入と展開による社会変革」について、近年、生成系AIの進化によりChatGPTなどの人工知能技術が多様な分野で応用されています。これらのAI技術を活用することで、東海市総合計画の高度化と効率化が可能と考えます。特に育児、教育、福祉、地域活動の分野において、具体的な例を含めてChatGPTなどのAIを積極的に活用することを提案いたします。 また、ChatGPTなどのAIを利用する際には、個人情報を適切に保護し、市民の信頼を築くことが不可欠です。透明性と説明責任を持ったAIの活用により、市民の安心と信頼を確保しつつ、より良いまちづくりに向けた一歩を踏み出すことができると考えます。</p>	<p>「第1編 総論 6 第7次総合計画におけるまちづくりの視点」の「行政推進の視点」に記載のとおり、デジタル化や高度化が進む市民の行政ニーズに対応しながら、効率的で効果的な行政運営を推進することが求められていることから、「第2編 基本構想 6 基本構想の推進」の「2．効率的で効果的な行政経営の確立」に、行政推進項目として「自治体DXを推進する」ことを記載し、行政運営のさまざまな場面でAIを始めとしたデジタル技術を個人情報に配慮しながら活用し、効率的な行政運営を実現することとしています。 なお、いただいた御意見は、今後の具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
	<p>「8．新たな生活様式と価値観の多様化への対応」について、「共生社会」、「協働体制」とありますが、難題であると考えます。</p>	<p>共生社会の実現に向けては、「第2編 基本構想 5 めざすまちの姿」の「3．人と人との絆を育み、だれもが役割を持ち支え合っている【地域づくり分野】」において、一人ひとりが互いを尊重し、役割を持って支え合い暮らすことができるよう適切な福祉サービスの提供と、コミュニティを重要なパートナーとしたまちづくりを推進するとともに、互いに理解を深め、連携・協力しながら暮らせる地域共生社会の構築を図るものとしています。</p>
	<p>現在は、一家に一台ではなく、数台の車のある時代になりました。これだけ車のあふれた時代では、車社会の都市であることを常に考え、現状対応ではなく、変化を見越して先取り対応でありたいものです。</p>	<p>日本全体の人口が減少し、高齢化が今後さらに進むことが予想されるなか、自動車だけではなく、さまざまな公共交通機関の充実など、社会情勢や利用者のニーズに合わせた公共交通ネットワークの整備が求められていることから、「第2編 基本構想 5 めざすまちの姿」の「5．安心・安全で快適に暮らせる都市機能が充実している【安心安全・都市基盤分野】」において、都市基盤の整備により便利で快適な都市空間の形成を図ることとしています。</p>
<p>第1編 総論 6 第7次総合計画におけるまちづくりの視点 P13～P15</p>	<p>「1．子育てしやすいまちづくりの推進」について、公立西知多総合病院に産科ができ、出産ができるようになったので、この点を書き加えるとよいのではないか。</p>	<p>「1．子育てしやすいまちづくりの推進」など記載されている11のまちづくりの視点は、具体的な取り組みではなく、今後のまちづくりに必要な視点を包括的に記載しています。そのため、「1．子育てしやすいまちづくりの推進」では、具体的事例を記載せず、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の必要性について表現しています。</p>
	<p>「2．学校教育の質や学習環境の向上と育ちの支援」について、学校教育は先生が主役です。先生が教育に専念できるよう、行政も最大の努力をしてほしい。</p>	<p>第7次総合計画の5つのめざすまちの姿の1つである「安心して子育てができ、子どもが健やかに育っている」を実現するため、子どもの豊かな心と健やかな体を育み成長する取り組みを推進するなど、子どもだけでなく教職員にとっても安心安全で快適な学校環境の整備に努めることとしています。</p>
	<p>「4．産業の活性化とにぎわいの創出」について、現在実施している市内の事業者に対する支援は引き続き進めてほしい。</p>	<p>産業の活性化とにぎわいの創出のため、新たな産業の創業につながる支援や企業誘致活動の推進など事業者への支援を継続して推進することとしています。</p>

意見該当箇所	意見の概要	意見に対する市の対応の方向性（案）
第1編 総論 6 第7次総合計画 におけるまちづくり の視点 P13～P15	<p>「6．地域社会の再構築と仕組みづくり」について、日本は多民族国家ではなく島国です。今でも村社会で、異質なことに対する拒否反応は強い。</p>	<p>外国にルーツを持つ市民は増加傾向にあることなどから、「第2編 基本構想 5 めざすまちの姿」の「3．人と人の絆を育み、だれもが役割を持ち支え合っている【地域づくり分野】」において、人種・国籍、性別、年齢、障害の有無などに関わらず理解を深め、連携・協力しながら暮らせる地域共生社会の構築を図ることとしています。</p>
	<p>「7．健康寿命の延伸に向けた取り組み」について、健康寿命の延伸も重要かもしれないが、それ以上に生きる期間の生きがいが必要だと言われている。人生の最後の幕引きをどうするか。</p>	<p>健康寿命の延伸と生きがいについては、「第2編 基本構想 5 めざすまちの姿」の「4．心身ともに健康で、いきいきと生活している【健康・生涯学習分野】」において、健康づくりにつながる取り組みを推進するとともに、生きがいを持って生涯学習やスポーツ、文化芸術などの取り組みを推進することとしています。</p>
	<p>「10．便利で快適な都市基盤の形成」について、リニア中央新幹線の開通により、ストロー現象で、ますます大都市に人口が流れるため、人口が増えることは考えられない。</p>	<p>リニア中央新幹線により、首都圏から中部圏に及ぶ範囲で大交流圏が形成され、経済、産業、文化などが対流・融合することで新たなイノベーションが創出されていくことが期待されており、社会的・経済的な交流の拡大・活性化が見込まれる一方で、地域における消費の衰退も懸念されます。そのため、第7次総合計画に掲げる、子どもや子育て世代を支援する社会の形成、住みやすい環境の保全やにぎわい・活力の向上、だれもが役割を持ち支え合う地域づくりなど、多くの人々が暮らしやすさと本市の魅力を実感できる施策を展開することにより、第7次総合計画における目標人口を116,000人と設定しています。</p>
	<p>「11．未来づくりを支える行財政運営の推進」について、自治体DXの推進とあるので、市の職員の新規採用は減らしていくべきです。また、これからは、少子高齢化社会に対応した業務を行う職員に切り替えるべきである。</p>	<p>「第2編 基本構想 6 基本構想の推進」では、第7次総合計画で掲げる将来都市像の実現にむけて、行政が主体となり施策の推進を下支えする行政推進項目に対して全庁的に取り組むこととしています。行政推進項目では、「自治体DXを推進する」だけでなく「より良い職場づくりと人材育成を推進する」を示しており、社会動向の変化により多様化、高度化するまちづくりの課題に対応できる職員の配置及び人材育成に努めていくこととしています。</p>
	<p>11のまちづくりの視点はどの項目も何も言うことはありません。全てが必要なことばかりです。ぜひとも多くを執行してほしいと願っています。</p>	<p>第7次総合計画におけるまちづくりの視点を踏まえ、将来都市像「ともにつながり 笑顔と希望あふれるまち とうかい」の実現に向けて、市民との協働・共創や効率的で効果的な施策の展開によりまちづくりを進め、将来都市像の実現を目指します。</p>
第2編 基本構想 1 将来都市像 P17及びP18	<p>第6次総合計画の将来都市像「ひと 夢 つなぐ 安心未来都市」とあるが、八幡新田駅周辺の市の工事は、地権者との契約に反し、計画通りに進んでいないどころか放置されているため、まちづくりの五つの基本理念（安心、快適、いきいき、ふれあい、活力）は絵に描いた餅であり改善ではなく後退である。</p>	<p>総合計画の総論・基本構想は、東海市における市全体のまちづくりの方向性や都市像を示すものであり、具体的な取り組みについては記載しません。 なお、いただいた御意見は、今後の具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。</p>

複数の意見該当箇所に対する意見

意見該当箇所	意見の概要	意見に対する市の対応の方向性（案）
第1編 総論 3 東海市を取り巻く社会動向 P3～P6 6 第7次総合計画におけるまちづくりの視点 P13～P15 第2編 基本構想 5 めざすまちの姿 P20 及び P21	東海市を取り巻く社会動向の「3. 地域経済を取り巻く構造と企業に求められる役割の変化」、第7次総合計画におけるまちづくりの視点「3. 環境に配慮した取り組みの推進」、めざすまちの姿「2. 住みやすい環境を保全し、にぎわいと活力に満ちている」の「良好な生活環境の保全」での降下ばいじん対策において、他国企業の取り組み等を参考にしながら、電気集塵機の設置やドーム型屋根を作るよう求めます。	総合計画の総論・基本構想は、東海市における市全体のまちづくりの方向性や都市像を示すものであり、具体的な取り組みについては記載しません。
第1編 総論 3 東海市を取り巻く社会動向 P3～P6 6 第7次総合計画におけるまちづくりの視点 P13～P15 第2編 基本構想 4 土地利用構想 P19	東海市を取り巻く社会動向の「6. 安心して暮らし続けられる地域づくり」、第7次総合計画におけるまちづくりの視点「6. 地域社会の再構築と仕組みづくり」、土地利用構想の鉄道駅周辺の集約型まちづくりについて、尾張横須賀駅前のショッピングセンター内の店舗の閉店が続いているが、ショッピングセンターはまちづくりの中心であると考え、尾張横須賀駅前に立体駐車場を建設するほか、まちづくりを考えていただきたい。	総合計画の総論・基本構想は、東海市における市全体のまちづくりの方向性や都市像を示すものであり、具体的な取り組みについては記載しません。 なお、いただいた御意見は、今後の具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。
第2編 基本構想 5 めざすまちの姿 P20 及び P21 6 基本構想の推進 P22	5つの「めざすまちの姿」と2つの「基本構想の推進」について、どの項目や事項は素晴らしいことが書かれています。これらを目指してがんばりましょう。 また、これらのことを進めなければならないと思うことは、多少強引かもしれないが市として進めないとならないと事が進まない気がする。	第7次総合計画におけるまちづくりの視点を踏まえ、将来都市像「ともにつながり 笑顔と希望あふれるまち とうかい」の実現に向けて、市民との協働・共創や効率的で効果的な施策の展開によりまちづくりを進め、将来都市像の実現を目指します。

意見該当箇所を示さなかった意見

意見該当箇所	意見の概要	意見に対する市の対応の方向性（案）
その他	太田川駅周辺は、歴史的に中心地で無かった所で土地が低く液状化など災害が懸念されます。大田町と横須賀町をひとつと考え、町づくりをそれぞれの特色を生かして行うことがこれからの東海市の中心として大切だと思います。	総合計画の総論・基本構想は、東海市における市全体のまちづくりの方向性や都市像を示すものであり、具体的な取り組みについては記載しません。 なお、いただいた御意見は、今後の具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。

（備考） 市民へのパブリックコメントについては、令和5年（2023年）7月5日から8月4日まで実施したもので、意見に対する市の最終的な対応については、東海市総合計画審議会の答申を受けた後の令和6年（2024年）1月に公表を予定しています。

部会意見 【第 1 部会】**めざすまちの姿 1 安心して子育てができ、子どもが健やかに育っている**

- 1 国の「異次元の少子化対策」における保育士の配置基準の見直しや「こども誰でも通園制度（仮称）」など、子育て施策が大きく変わっていくことが予想されるなか、本市においても全国的な流れを踏まえた取り組みの検討を進められたい。
- 2 子どもの就学時に、発達障害の子どもたちにおける病状等の情報が放課後児童クラブなどの関係機関には共有されない状況であり、子どもの特性を理解し接することが重要であるため、それらの対応について検討を進められたい。
- 3 公立保育園と民間保育所等それぞれの情報を一元化し、保護者へ提供する取り組みを進められたい。
- 4 子どもの就学時において、小学校区外にある幼稚園などと小学校の連携が取りづらいついた状況があることから、小学校と幼稚園・保育園の連携強化を進められたい。
- 5 学校施設の老朽化が進んでいることから、学校の現状を把握したうえで対策を講じられたい。

めざすまちの姿 3 人と人との絆を育み、だれもが役割を持ち支え合っている

- 1 認知症に対する理解促進や認知症の人が通常どおり社会生活を営むことができる環境整備など、具体的な対策を講じられたい。
- 2 障害者福祉を就労に結びつける具体的な取り組みを進められたい。
- 3 障害者福祉について、行政だけでなく市全体で高齢者や障害者を支えられるような制度の検討を進められたい。
- 4 町内会・自治会の加入率を上げていくことは困難であることから、町内会や自治会の活動について、今の時代に合ったあり方に変えていく取り組みを進められたい。
- 5 負担を抱えながら町内会・自治会活動を行っている人が多いと感じるなか、町内会や自治会だけでなく、他の方法によって果たせる役割について検討を進められたい。

めざすまちの姿4 心身ともに健康で、いきいきと生活している

- 1 公立西知多総合病院が、安心安全な医療が受けられるよう地域医療の核となる病院としての役割を果たせる取り組みを進められたい。
- 2 文化芸術活動の担い手を育成・支援するには、将来担い手となる児童生徒を育成することが重要であるため、児童生徒を対象とした取り組みを進められたい。
- 3 令和7年度に開館が予定されている「創造の杜交流館」において、横須賀御殿をはじめとした本市の歴史を広く市民や子どもたちに伝えていく取り組みを進められたい。
- 4 未来を担う世代の郷土愛を育むため、児童生徒などに対する平洲記念館の積極的利用を促すような取り組みを進められたい。

部会意見 【第 2 部会】**めざすまちの姿 2 住みやすい環境を保全し、にぎわいと活力に満ちている**

- 1 降下ばいじんの削減のためには、企業の協力が必要不可欠であることから、企業との連携を強化し、効果的な対策を講じられたい。
- 2 令和 4 年 3 月にゼロカーボンシティ宣言をしていることから、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを積極的に進められたい。
- 3 農業者の高齢化は進んでいるなか、経営の弱体化を防ぐため農業に対して様々な対策を講じられたい。
- 4 東海市産の農産物を消費し、認知度を向上させるには農産物のブランド化や P R をすることが重要であることから、必要な取り組みを進められたい。
- 5 交流人口を増やすことはまちのにぎわいに繋がることから、愛知県も活用している地方自治体しか使用できないビックデータを活用し、客観的なデータに基づいた対策を講じられたい。

めざすまちの姿 5 安心・安全で快適に暮らせる都市機能が充実している

- 1 市民の生命と財産を守る消防や救急は、現場への到着時間が非常に重要であることから、迅速な対応ができる仕組みづくりを進められたい。
- 2 市民が悪徳商法などトラブルに合うことがないように、消費生活トラブルを未然に防ぐ取り組みを進められたい。
- 3 循環バスを始め公共交通機関の利便性を向上するため、自動運転などの先端技術を取り入れた公共交通ネットワークの構築に対する取り組みを進められたい。
- 4 公園や緑地はさまざまな方が利用することから、だれでも利用がしやすい公園や緑地の整備を進められたい。

行政推進項目

- 1 デジタル技術の活用によるオンライン化や市の業務の見直しだけでなく、分かりやすく手続きができることやワンストップでの手続きなど市民側の視点に立った取り組みを進められたい。
- 2 デジタル機器を使用できない方もいることから、デジタルデバイド対策について積極的に取り組みを進められたい。

- 3 シティプロモーションについて、市が行うだけでなく市民自らがシティプロモーションできる人材を育成するなど、東海市らしさにも繋がっていくプロモーションについて取り組みを進められたい。
- 4 市の情報発信は市民に届いていないと感じることから、常に情報が届くような仕組みづくりを進められたい。
- 5 LINEによる情報発信は効果的であるため、市のLINEアカウントを友達登録してもらうため、学校や企業などを始めとして普及啓発する取り組みを進められたい。

(案)

資料4

令和5年(2023年)10月24日

東海市長 花田勝重様

東海市総合計画審議会

会長 千頭 聡

第7次東海市総合計画について(答申)

令和4年(2022年)11月16日付け企第82号で諮問のありましたこのことについては、下記のとおり答申します。

記

全国的な人口減少や社会の成熟化、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い大きく変化した社会経済や市民生活からの回復、持続可能な開発目標(SDGs)やカーボンニュートラルの推進、生成系人工知能など進化し続けるデジタル技術の活用を始めとした未来技術の進展など、我が国を取り巻く社会環境は大きく変化しています。

東海市においても、子育てしやすいまちづくりの推進、環境に配慮した取り組みの推進、福祉サービスの向上と地域共生社会の形成、健康寿命の延伸に向けた取り組みの推進、安心・安全な社会基盤の維持・確保、未来づくりを支える行財政運営の推進など、「子ども・子育て」、「環境・経済」、「地域づくり」、「健康・生涯学習」、「安心安全・都市基盤」、「行政推進」における視点からまちづくりについて質の高い取り組みが求められています。

昨年11月からスタートした総合計画審議会では、第5次総合計画及び第6次総合計画で進められてきた「市民との協働と共創」を基調としたまちづくりの考え方を継承しつつ、東海市がこれからの新しい時代に迅速でしなやかに対応するため、まちづくりの方向性について、延べ10回にわたり真摯で熱心な議論を重ねてきました。

諮問された第7次総合計画(素案)は、「ともにつながり 笑顔と希望あふれるまちとうかい」を将来都市像として設定し、市民、地域、団体、事業者及び行政が互いの役割を持ちながら施策を推進することで、5つの「めざすまちの姿」の実現に近づき、市民が幸せと豊かさを実感するとともに、笑顔と希望にあふれたまちをめざすものであり、計画の方向性として適切なものであると考えます。

なお、計画の推進にあたっては、本審議会で出された次の意見を十分に考慮し、市民の視点に立った時代に求められているまちづくりにスピード感を持って積極的に取り組んでいただくよう要望するものです。

めざすまちの姿1 安心して子育てができ、子どもが健やかに育っている

- 1 国の「異次元の少子化対策」における保育士の配置基準の見直しや「こども誰でも通園制度（仮称）」など、子育て施策が大きく変わっていくことが予想されるなか、本市においても全国的な流れを踏まえた取り組みの検討を進められたい。
- 2 子どもの就学時に、発達障害の子どもたちにおける病状等の情報が放課後児童クラブなどの関係機関には共有されない状況であり、子どもの特性を理解し接することが重要であるため、それらの対応について検討を進められたい。
- 3 公立保育園と民間保育所等それぞれの情報を一元化し、保護者へ提供する取り組みを進められたい。
- 4 子どもの就学時において、小学校区外にある幼稚園などと小学校の連携が取りづらいついた状況があることから、小学校と幼稚園・保育園の連携強化を進められたい。
- 5 学校施設の老朽化が進んでいることから、学校の現状を把握したうえで対策を講じられたい。

めざすまちの姿2 住みやすい環境を保全し、にぎわいと活力に満ちている

- 1 降下ばいじんの削減のためには、企業の協力が必要不可欠であることから、企業との連携を強化し、効果的な対策を講じられたい。
- 2 令和4年3月にゼロカーボンシティ宣言をしていることから、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを積極的に進められたい。
- 3 農業者の高齢化は進んでいるなか、経営の弱体化を防ぐため農業に対して様々な対策を講じられたい。
- 4 東海市産の農産物を消費し、認知度を向上させるには農産物のブランド化やPRをすることが重要であることから、必要な取り組みを進められたい。
- 5 交流人口を増やすことはまちのにぎわいに繋がることから、愛知県も活用している地方自治体しか使用できないビックデータを活用し、客観的なデータに基づいた対策を講じられたい。

めざすまちの姿3 人と人との絆を育み、だれもが役割を持ち支え合っている

- 1 認知症に対する理解促進や認知症の人が通常どおり社会生活を営むことができる環境整備など、具体的な対策を講じられたい。
- 2 障害者福祉を就労に結びつける具体的な取り組みを進められたい。
- 3 障害者福祉について、行政だけでなく市全体で高齢者や障害者を支えられるような制度の検討を進められたい。
- 4 町内会・自治会の加入率を上げていくことは困難であることから、町内会や自治会の活動について、今の時代に合ったあり方に変えていく取り組みを進められたい。
- 5 負担を抱えながら町内会・自治会活動を行っている人が多いと感じるなか、町内会や自治会だけでなく、他の方法によって果たせる役割について検討を進められたい。

めざすまちの姿4 心身ともに健康で、いきいきと生活している

- 1 公立西知多総合病院が、安心安全な医療が受けられるよう地域医療の核となる病院としての役割を果たせる取り組みを進められたい。
- 2 文化芸術活動の担い手を育成・支援するには、将来担い手となる児童生徒を育成することが重要であるため、児童生徒を対象とした取り組みを進められたい。
- 3 令和7年度に開館が予定されている「創造の杜交流館」において、横須賀御殿をはじめとした本市の歴史を広く市民や子どもたちに伝えていく取り組みを進められたい。
- 4 未来を担う世代の郷土愛を育むため、児童生徒などに対する平洲記念館の積極的利用を促すような取り組みを進められたい。

めざすまちの姿5 安心・安全で快適に暮らせる都市機能が充実している

- 1 市民の生命と財産を守る消防や救急は、現場への到着時間が非常に重要であることから、迅速な対応ができる仕組みづくりを進められたい。
- 2 市民が悪徳商法などトラブルに合うことがないように、消費生活トラブルを未然に防ぐ取り組みを進められたい。
- 3 循環バスを始め公共交通機関の利便性を向上するため、自動運転などの先端技術を取り入れた公共交通ネットワークの構築に対する取り組みを進められたい。

- 4 公園や緑地はさまざまな方が利用することから、だれでも利用がしやすい公園や緑地の整備を進められたい。

行政推進項目

- 1 デジタル技術の活用によるオンライン化や市の業務の見直しだけでなく、分かりやすく手続きができることやワンストップでの手続きなど市民側の視点に立った取り組みを進められたい。
- 2 デジタル機器を使用できない方もいることから、デジタルデバイド対策について積極的に取り組みを進められたい。
- 3 シティプロモーションについて、市が行うだけでなく市民自らがシティプロモーションできる人材を育成するなど、東海市らしさにも繋がっていくプロモーションについて取り組みを進められたい。
- 4 市の情報発信は市民に届いていないと感じることから、常に情報が届くような仕組みづくりを進められたい。
- 5 LINEによる情報発信は効果的であるため、市のLINEアカウントを友達登録してもらうため、学校や企業などを始めとして普及啓発する取り組みを進められたい。

第7次総合計画 まちづくり指標・成果指標一覧

参考資料

めざまち	施策	まちづくり指標	単位の成果指標	主管課【施策】	〈まちづくり指標案〉	[単位の施策]	〈成果指標案〉	主管課	算出方法	基準値(R4)
めざまちの姿1 安心して子育てができ、子どもが健やかに育っている										
施策1 子どもや子育て世代への支援								【女性・子ども課】		
まちづくり指標1 子育てがしやすいまちであると感じている18歳以下の子どもを持つ人の割合				〈女性・子ども課〉	市民アンケート「18歳以下の子どもがいますか」で「はい」と回答した人のうち、「子育てしやすいまちである」と思う「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/市民アンケート「18歳以下の子どもがいますか」で「はい」と回答した人の数×100				86.4%	
単位施策1-1 親子ともに健やかな育ちを推進する								[健康推進課]		
成果指標1-1-1 乳幼児健診受診率				〈健康推進課〉	乳児健康診査(4か月)、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査の受診者数/対象者数×100				92.8%	
成果指標1-1-2 子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合				〈健康推進課〉	健診時アンケート①乳児「親の後追いをすることを知っていますか」、②1歳6か月児「何かに興味を持った時に、指さしで伝えようとするのを知っていますか」、③3歳児「他の子どもから誘われれば遊びに加わろうとすること知っていますか」で「はい」と回答した人の数/健診時アンケート回答総数×100				95.2%	
単位施策1-2 多様なニーズに対応した保育を提供する								[幼児保育課]		
成果指標1-2-1 公立保育園、民間保育所等の待機児童数				〈幼児保育課〉	この1年間で公立保育園、民間保育所等への入所を希望しているが待機となった児童数 ※待機児童の定義については、厚生労働省の実施する「保育所等利用待機児童数調査」における取扱いを準用				9人/年	
成果指標1-2-3 多様な保育ニーズに対応できる場所があると感じている18歳以下の子どもを持つ人の割合				〈幼児保育課〉	市民アンケート「18歳以下の子どもがいますか」で「はい」と回答した人のうち、「多様な保育ニーズに対応できる場所がある」と思う「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/市民アンケート「18歳以下の子どもがいますか」で「はい」と回答した人の数×100				64.5%	
単位施策1-3 子どもや子育て世代が安心できる居場所づくりを推進する								[女性・子ども課]		
成果指標1-3-1 地域子育て支援拠点の利用者数				〈女性・子ども課〉	児童館、子育て支援センターの年間利用者数 ※基準値(令和4年度)に、令和4年度に閉館した緑陽児童館の利用者数は含んでいないもの。				124,557人/年	
成果指標1-3-2 身近に子どもが安心して過ごせる場(家庭や学校を除く)があると思う18歳以下の子どもを持つ人の割合				〈女性・子ども課〉	市民アンケート「18歳以下の子どもがいますか」で「はい」と回答した人のうち、「身近に子どもが安心して過ごせる場(家庭や学校を除く)がある」と思う「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/市民アンケート「18歳以下の子どもがいますか」で「はい」と回答した人の数×100				74.9%	
成果指標1-3-3 放課後児童クラブの待機者数				〈女性・子ども課〉	年度末(3/31)時点における公立放課後児童クラブ、民間放課後児童クラブへの入所を希望しているが、待機となった児童数				0人/年	
単位施策1-4 支援を必要とする子どもへの体制を整備する								[女性・子ども課]		
成果指標1-4-1 子育ての悩みについて、相談する場を知っている人の割合				〈女性・子ども課〉	市民アンケート「子育てについて相談の場を知っている」と思う「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100				46.9%	
成果指標1-4-2 障害児福祉サービス延べ利用者数				〈女性・子ども課〉	児童発達支援給付、放課後等デイサービス給付、保育所等訪問支援給付の年間延べ利用者数				69,765人/年	
成果指標1-4-3 児童虐待発生件数				〈女性・子ども課〉	18歳以下の子どもにおける1年間に愛知県知多児童・障害者相談センターが虐待と認定した件数				162件/年	
施策2 子どもの学び・体験への支援								【学校教育課】		
まちづくり指標2 夢や目標を持っている児童生徒の割合				〈学校教育課〉	児童生徒アンケート「将来の夢や目標を持っていますか」で「持っている」「どちらかといえば持っている」と回答した小学生・中学生の数/アンケート回答総数×100				72.1%	
単位施策2-1 子どもの生きる力を養い、学びの機会を提供する								[学校教育課]		
成果指標2-1-1 好きな授業がある児童生徒の割合				〈学校教育課〉	児童生徒アンケート「好きな授業や教科はありますか」で「ある」と回答した小学生・中学生の数/アンケート回答総数×100				90.5%	
成果指標2-1-2 学校の授業がわかりやすいと答えた児童生徒の割合				〈学校教育課〉	児童生徒アンケート「学校の授業内容はわかりやすいですか」で「わかりやすい」「どちらかといえばわかりやすい」と回答した小学生・中学生の数/アンケート回答総数×100				87.3%	
成果指標2-1-3 給食が楽しいと感じる児童生徒の割合				〈学校教育課〉	児童生徒アンケート「給食の時間は楽しいですか」で「楽しい」「どちらかといえば楽しい」と回答した小学生・中学生の数/アンケート回答総数×100				79.4%	
単位施策2-2 悩みを抱える子どもに寄り添った支援を充実させる								[学校教育課]		
成果指標2-2-1 自己肯定感を持っている児童生徒の割合				〈学校教育課〉	児童生徒アンケート「自分の得意なところや苦手なところを知っていますか」で「知っている」「どちらかといえば知っている」と回答した小学生・中学生の数/アンケート回答総数×100				※R5児童生徒アンケートで取得	
成果指標2-2-2 困った時に悩みを相談できる人が身近にいる児童生徒の割合				〈学校教育課〉	児童生徒アンケート「困ったときに悩みを相談できる人が身近にいますか」で「いる」と回答した小学生・中学生の数/アンケート回答総数×100				84.0%	
成果指標2-2-3 さまざまな人の考え方や思いの違いを理解して生活しようとしている児童生徒の割合				〈学校教育課〉	児童生徒アンケート「様々な人の考え方や思いのちがいを理解して生活しようとしていますか」で「している」「どちらかといえばしている」と回答した小学生・中学生の数/アンケート回答総数×100				88.6%	
単位施策2-3 子どもが安心安全で快適に学ぶことができる環境を整備する								[学校教育課]		
成果指標2-3-1 学校施設の長寿命化改修率				〈学校教育課〉	学校施設の長寿命化計画に基づく改修件数/計画期間中の事業計画数×100				24.1%	
単位施策2-4 学校と家庭・地域の連携を充実させる								[学校教育課]		
成果指標2-4-1 学校支援協議会におけるボランティア活動の参加者数				〈学校教育課〉	学校支援協議会の活動状況報告における、学校支援協議会のボランティア活動の年間参加者数				2,821人/年	
成果指標2-4-2 学校教育活動に参加したいと考えている人の割合				〈学校教育課〉	市民アンケート「学校支援協議会や登下校の見守り活動などのボランティアで、学校教育活動に参加したい」と思う「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の数/アンケート回答総数×100				25.0%	
単位施策2-5 地域と協力し、子どもの健全な成長を支援する								[社会教育課]		
成果指標2-5-1 体験活動事業の参加者数				〈社会教育課〉	子ども教室開催事業、ものづくり子ども教室開催事業、ふれあい交流推進事業、少年少女発明クラブ、ボーイ・ガールスカウト活動(会議を除く)の年間参加者数				15,128人/年	
成果指標2-5-2 子どもの健全育成に関わる事業への市民・団体・事業者の協力者数				〈社会教育課〉	1年間に子ども教室開催事業、ものづくり子ども教室開催事業、青少年育成員の街頭パトロール、少年少女発明クラブ、ボーイ・ガールスカウトを通して、子どもの健全育成に携わった指導者、協力者の人数				1,619人/年	

第7次総合計画 まちづくり指標・成果指標一覧

参考資料

めざまち	施策	まちづくり指標	単位施策	成果指標	主管課 【施策】 《まちづくり指標案》 [単位施策] <成果指標案>	主管課	算出方法	基準値 (R4)
めざまちの姿2 住みやすい環境を保全し、にぎわいと活力に満ちている								
施策3 良好な生活環境の保全						【生活環境課】		
	まちづくり指標3	降下ばいじん量			《生活環境課》	市内測定局（移動測定局を除く）で毎月測定した降下ばいじん量の年間平均値の合計/測定局数	3.3t/km ² ・月	
	まちづくり指標4	地域の環境面において、生活に支障を感じている人の割合			《生活環境課》	市民アンケート「お住まいの地域の環境面において、生活に支障を感じている」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	46.9%	
	単位施策3-1 大気汚染、降下ばいじんを低減する				[生活環境課]			
	成果指標3-1-1	大気汚染（降下ばいじん以外）により、生活に支障を感じている人の割合			<生活環境課>	市民アンケート「お住まいの地域の環境面において、生活に支障を感じている」で「はい」と回答した人のうち、「大気汚染（降下ばいじん以外）」を原因と回答した人の数/アンケート回答総数×100	10.3%	
	成果指標3-1-2	降下ばいじんにより、生活に支障を感じている人の割合			<生活環境課>	市民アンケート「お住まいの地域の環境面において、生活に支障を感じている」で「はい」と回答した人のうち、「降下ばいじん」を原因と回答した人の数/アンケート回答総数×100	26.8%	
	成果指標3-1-3	降下ばいじん量のうち不溶性成分量			<生活環境課>	市内測定局（移動測定局を除く）で毎月測定した降下ばいじん量のうち不溶性成分量の年間平均値の合計/測定局数	1.7t/km ² ・月	
	単位施策3-2 水質汚濁、悪臭、騒音を低減する				[生活環境課]			
	成果指標3-2-1	土留木川の平均BOD濃度			<生活環境課>	土留木川 竜ノ脇交差点におけるBOD濃度の年間平均値	9.9mg/l	
	成果指標3-2-2	騒音調査の基準値適合率			<生活環境課>	①と②の平均値 ※①環境騒音測定地点×2区分（昼間・夜間）における測定値が環境基準に適合している割合 ②自動車騒音測定地点×2区分（昼間・夜間）における測定値が騒音規制法の規定による要請限度を超えない割合	83.4%	
	単位施策3-3 環境美化を推進する				[生活環境課]			
	成果指標3-3-1	不法投棄、雑草繁茂、動物や害虫により、生活に支障を感じている人の割合			<生活環境課>	市民アンケート「お住まいの地域の環境面において、生活に支障を感じている」で「はい」と回答した人のうち、「不法投棄」、「雑草繁茂」、「動物や害虫」のうち1つでも原因と回答した人の数/アンケート回答総数×100	18.0%	
施策4 自然と共生する持続可能な社会の実現						【生活環境課】		
	まちづくり指標5	温室効果ガス排出量の削減割合			《生活環境課》	基準年度（平成25年度）に対する温室効果ガス排出量の削減割合（特定事業所排出者を除く）	19.1%	
	まちづくり指標6	市民一人1日当たりのごみの排出量			《清掃センター》	1年間のごみ（家庭系・事業系（可燃物+不燃物））の清掃センター（令和6年度からは西知多クリーンセンター）への総搬入量+資源回収量/年間日数/人口	807g/（人・日）	
	単位施策4-1 温室効果ガス削減に向けた取り組みを推進する				[生活環境課]			
	成果指標4-1-1	地球温暖化の防止に取り組んでいる人の割合			<生活環境課>	市民アンケート「地球温暖化防止のために取り組んでいることがある」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	76.9%	
	成果指標4-1-2	太陽光発電システムの設置件数			<生活環境課>	中部電力パワーグリッド(株)と売電契約を締結している契約数	4,566件	
	単位施策4-2 ごみの減量化とリサイクルを推進する				[清掃センター]			
	成果指標4-2-1	市民一人1日当たりの家庭系ごみ（資源を除く）の量			<清掃センター>	1年間の家庭ごみ（可燃物+不燃物）の清掃センター（令和6年度からは西知多クリーンセンター）への総搬入量/年間日数/人口	460g/（人・日）	
	成果指標4-2-2	ごみ減量、リサイクルに取り組んでいる人の割合			<清掃センター>	市民アンケート「ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	81.8%	
	単位施策4-3 環境意識を向上させる				[生活環境課]			
	成果指標4-3-1	普段から環境に配慮した行動を実践している人の割合			<生活環境課>	市民アンケート「普段から環境に配慮した行動を実践している」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答数×100	68.2%	
施策5 魅力ある農業の振興						【農務課】		
	まちづくり指標7	東海市産の農産物を意識して購入している人の割合			《農務課》	市民アンケート「東海市産の農産物であることを意識して購入している」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	33.7%	
	単位施策5-1 農地の有効利用を推進する				[農務課]			
	成果指標5-1-1	農地の有効利用率			<農務課>	耕地面積/総農地面積×100（耕地面積：総農地面積-市街化調整区域内の遊休農地の面積 総農地面積：東海市農業委員会農家台帳集計数値のうち市街化調整区域内農地の面積）	95.3%	
	単位施策5-2 農業経営を支援する				[農務課]			
	成果指標5-2-1	地域特産農産物の出荷額			<農務課>	1年間で市内農業者により農業協同組合へ出荷された野菜・果実・花卉類の出荷額（米穀類を除く）	1,308,251千円	
	成果指標5-2-2	人・農地プランに位置付けられた中心経営体数			<農務課>	人・農地プランに位置付けられている農家数	85経営体	
施策6 活力ある商工業の振興						【商工労政課】		
	まちづくり指標8	商工業、観光分野でにぎわいが創出されていると思う人の割合			《商工労政課》	市民アンケート「商工業、観光分野でにぎわいが創出されている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答者数×100	43.7%	
	単位施策6-1 商工業の活性化を推進する				[商工労政課]			
	成果指標6-1-1	売上が増加している事業所の割合			<商工労政課>	商工会議所が毎年度実施する経営発達支援計画における事業所の経営状況把握調査票の「売上が増加している事業所の割合」で「増加」と回答した人の数/アンケート回答者総数×100	35.4%	
	単位施策6-2 観光資源の魅力を上向きさせ、観光交流を推進する				[商工労政課]			
	成果指標6-2-1	観光地点入込客数			<商工労政課>	大池公園桜まつり、東海まつり花火大会、東海秋まつり、東海フラワーショウ、観光物産プラザ、クラインガルテン、平洲記念館、聚楽園公園（嚶鳴庵）への年間来客数	302,060人	
	成果指標6-2-2	市内宿泊施設の宿泊者数			<商工労政課>	この1年の市内宿泊施設（名和プラザホテル、東海シティホテル、東海センターホテル、ビジネス葵ホテル、ザ・カトーホテル、マールホテル東海、ABホテル東海太田川、ルートイングランティア東海、勤労センター）の延べ宿泊者数	249,025人/年	
	単位施策6-3 働きやすい環境整備を支援する				[商工労政課]			
	成果指標6-3-1	地域職業相談室の就職件数と内職相談による斡旋件数			<商工労政課>	1年間で地域職業相談室での手続により就職につながった件数及び内職相談窓口で相談を受け企業への斡旋ができた件数	448件	

第7次総合計画 まちづくり指標・成果指標一覧

参考資料

め ざ ま ち	施策	まち づ く り 指 標	単 位 施 策	成 果 指 標	主管課 【施策】 《まちづくり指標案》 [単位施策] <成果指標案>	主管課	算出方法	基準値 (R4)
めざすまちの姿3 人と人との絆を育み、だれもが役割を持ち支え合っている								
施策7 地域福祉の推進					【社会福祉課】			
まちづくり指標9 地域の住民が互いに支え合っていると思う人の割合					《社会福祉課》		市民アンケート「お住まいの地域では、住民同士の支え合い、助け合い(相互扶助)ができています」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答者総数×100	34.6%
単位施策7-1 包括的支援体制の構築を推進する					[社会福祉課]			
成果指標7-1-1 福祉に関する相談先を知っている人の割合					<社会福祉課>		市民アンケート「市役所以外に福祉に関する相談窓口を知っている」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答者総数×100	59.1%
成果指標7-1-2 生活の困りごとを相談できる相手がいる人の割合					<社会福祉課>		市民アンケート「生活の困りごとを、気軽に相談できる相手がいる」で「いる」と回答した人の数/アンケート回答者総数×100	81.2%
単位施策7-2 地域福祉の担い手や組織の醸成を推進する					[社会福祉課]			
成果指標7-2-1 地域福祉活動に担い手として参加している人の割合					<社会福祉課>		市民アンケート「この1年間にお住まいの地域における福祉活動に参加した」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答者総数×100	14.8%
施策8 高齢者福祉の充実					【高齢者支援課】			
まちづくり指標10 高齢者が地域で安心して暮らしていると思う人の割合					《高齢者支援課》		市民アンケート「高齢者が安心して暮らしている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答者総数×100	55.8%
単位施策8-1 高齢者の福祉サービスを充実させる					[高齢者支援課]			
成果指標8-1-1 高齢者福祉サービスが充実していると感じている利用者割合					<高齢者支援課>		市民アンケート「介護保険サービス、高齢者福祉サービスが充実している」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答者総数(40歳以上)×100	50.4%
単位施策8-2 高齢者の活躍の場を増やし、社会参加を促進する					[高齢者支援課]			
成果指標8-2-1 社会参加・交流をしている高齢者割合					<高齢者支援課>		市民アンケート「仕事やボランティアまたは地区活動等で社会参加をしたことがある」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答者総数(65歳以上)×100	37.8%
施策9 障害者福祉の充実					【社会福祉課】			
まちづくり指標11 障害者が地域で安心して暮らしていると思う人の割合					《社会福祉課》		市民アンケート「障害者が地域のなかで安心して暮らしている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答者総数×100	47.1%
単位施策9-1 障害者の福祉サービスを充実させる					[社会福祉課]			
成果指標9-1-1 障害者に関する福祉サービスの利用者数					<社会福祉課>		1年間に障害に関する福祉サービスを利用したことがある人数	830人/年
単位施策9-2 障害者の社会参加を促進する					[社会福祉課]			
成果指標9-2-1 障害者が社会参加できていると感じる人の割合					<社会福祉課>		市民アンケート「障害者が地域のなかで社会参加できている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答者総数×100	37.2%
成果指標9-2-2 福祉施設から一般就労への移行者数					<社会福祉課>		1年間に市内福祉施設から一般就労へ移行した延べ人数	23人/年
施策10 協働と尊重による地域社会づくりの推進					【市民協働課】			
まちづくり指標12 住んでいる地域が協働で地域課題の解決に取り組んでいると思う人の割合					《市民協働課》		市民アンケート「お住まいの地域は、コミュニティ、市民活動団体、大学や企業等の活動により、地域課題の解決に取り組んでいる」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答者総数×100	35.3%
まちづくり指標13 団体・大学・企業との協働により実施している事業数					《市民協働課》		1年間にNPO、大学及び企業との協働により実施した事業の数	62事業/年
単位施策10-1 地域運営体制づくりを推進する					[市民協働課]			
成果指標10-1-1 コミュニティの活動が活発と思う人の割合					<市民協働課>		市民アンケート「お住まいの地域において、コミュニティのふれあい・交流、防犯・防災などの活動が活発である」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答者総数×100	38.8%
単位施策10-2 地域活動を推進する					[市民協働課]			
成果指標10-2-1 地域活動に参加している人の割合					<市民協働課>		市民アンケート「この1年間にお住まいの地域において、地域活動(コミュニティ、町内会・自治会などの活動)に参加したことがある」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答者総数×100	25.3%
単位施策10-3 市民活動を推進する					[市民協働課]			
成果指標10-3-1 市民活動センター来館者数(市民活動目的)					<市民協働課>		市民活動センターの年間利用者数(市民活動目的)	10,561人/年
成果指標10-3-2 市民活動に参加している人の割合					<市民協働課>		市民アンケート「この1年間に、子育て、文化、まちづくりなどのNPOやボランティア活動に参加したことがある」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答者総数×100	7.8%
単位施策10-4 多様性を認め合う社会を推進する					[企画政策課]			
成果指標10-4-1 多様性を認め合い、地域で共に暮らしていこうと思う人の割合					<女性・子ども課>		市民アンケート「多様性を認め合い、地域で共に暮らしていこうと思う」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答者総数×100	64.1%

第7次総合計画 まちづくり指標・成果指標一覧

参考資料

め ざ ま ち	施策	まち づ く り 指 標	単 位 施 策	成 果 指 標	主管課 【施策】 《まちづくり指標案》 [単位施策] <成果指標案>	主管課	算出方法	基準値 (R4)
めざすまちの姿4 心身ともに健康で、いきいきと生活している								
施策11 健康づくりの推進						【健康推進課】		
		まちづくり指標14	健康寿命（男性）		《健康推進課》	厚生労働省研究班の指針に基づき、人口、死亡数、不健康割合の分母、不健康割合の分子を使用して算出	80.32歳	
		まちづくり指標15	健康寿命（女性）		《健康推進課》	厚生労働省研究班の指針に基づき、人口、死亡数、不健康割合の分母、不健康割合の分子を使用して算出	84.36歳	
		単位施策11-1 個人の健康づくりに対する意識の向上と取り組みを推進する			[健康推進課]			
		成果指標11-1-1	健康のために市民が取り組んでいる生活習慣の項目数		<健康推進課>	市民アンケート「健康のために生活習慣として何らかの取組を実践している」で全14項目中「○」をつけた項目数/アンケート回答総数	5.2個/人	
		単位施策11-2 疾病の早期発見や重症化・介護予防を推進する			[健康推進課]			
		成果指標11-2-1	年に1回は健康診断を受けている人の割合		<健康推進課>	市民アンケート「年に1回は健康診断を受けている（健康診断：がん検診のみの場合を除く）」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	72.7%	
		成果指標11-2-2	がん検診を定期的に受けている人の割合		<健康推進課>	市民アンケート「この1～2年間にがん検診を受診した」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	43.6%	
		成果指標11-2-3	新規要介護認定者の平均年齢		<健康推進課>	1年間に新規で要介護認定を受けた人（第1号被保険者）の平均年齢	80.94歳	
		単位施策11-3 健康づくりの環境整備を推進する			[健康推進課]			
		成果指標11-3-1	健康宣言事業所数		<健康推進課>	全国健康保険協会が健康宣言チャレンジ事業所として認定した事業所数	96事業所	
		成果指標11-3-2	健康応援ステーションの数		<健康推進課>	運動ステーション及び食生活ステーションの設置数	36箇所	
		単位施策11-4 安心して医療機関を受診できる環境を整備する			[健康推進課]			
		成果指標11-4-1	かかりつけ医を持っている人の割合		<健康推進課>	市民アンケート「かかりつけ医がいる」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答者総数×100	61.7%	
		成果指標11-4-2	かかりつけ歯科医を持っている人の割合		<健康推進課>	市民アンケート「かかりつけ歯科医がいる」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答者総数×100	67.4%	
		成果指標11-4-3	休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる人の割合		<健康推進課>	市民アンケート「休日、夜間に具合が悪くなった時に、どこかの診療所や病院に行くかを調べることができる（救急車を呼ぶことは除く）」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	69.1%	
		施策12 生涯学習の推進			【社会教育課】			
		まちづくり指標16	生涯学習を行っている人の割合		《社会教育課》	市民アンケート「この1年間に生涯学習活動に取り組んだ」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	23.9%	
		単位施策12-1 市民の生涯学習活動を支援する			[社会教育課]			
		成果指標12-1-1	生涯学習活動での公民館、市民館、コミュニティセンターなどの利用者数		<社会教育課>	1年間の上野公民館、地区公民館・市民館、コミュニティセンター、創造の杜交流館及び市民大学講座利用分における生涯学習活動目的の施設利用者数（選挙、ゴミ袋配布、イベントを除く） ※基準値（令和4年度）には、旧文化センターにおける利用者数を加算しているもの。	299,676人/年	
		成果指標12-1-2	生涯学習に関する講座などの参加者数		<社会教育課>	1年間の公民館等活動運営事業及び市民大学「平成囀鳴館」による講座参加者数	61,472人/年	
		単位施策12-2 読書を楽しむ環境を充実させる			[中央図書館]			
		成果指標12-2-1	中央図書館及び横須賀図書館の年間貸出総数		<中央図書館>	中央図書館（配本所、ネットワーク施設含む）、横須賀図書館の年間貸出冊数（視聴覚資料を含む）	770,853冊/年	
		成果指標12-2-2	児童生徒が1ヶ月に読んだ本の冊数		<中央図書館>	児童生徒アンケート「この1か月の間に何冊の本を読みましたか」で回答した本の冊数の合計/アンケート回答総数	4.4冊/人	
		成果指標12-2-3	本を読むことが大切と思う児童生徒の割合		<中央図書館>	児童生徒アンケート「あなたは、本（書籍）を読むことが大切だと思いますか」で「大切だと思う」「どちらかといえば大切だと思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	87.2%	
		施策13 スポーツの推進			【スポーツ課】			
		まちづくり指標17	スポーツを実践している人の割合		《スポーツ課》	市民アンケート「スポーツ（ウォーキング・軽運動を含む）を実践している」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	49.9%	
		まちづくり指標18	スポーツ観戦をしたことがある人の割合		《スポーツ課》	市民アンケート「この1年間にスポーツ観戦をしたことがある（テレビ中継等での観戦は除く）」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	18.4%	
		単位施策13-1 市民のスポーツ活動を推進する			[スポーツ課]			
		成果指標13-1-1	市内スポーツ事業に参加したことがある人の割合		<スポーツ課>	市民アンケート「この1年間に市内で行われたスポーツ事業に参加したことがある」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	5.3%	
		単位施策13-2 スポーツに取り組む環境を充実させる			[スポーツ課]			
		成果指標13-2-1	スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合		<スポーツ課>	市民アンケート「スポーツをしやすい環境が整っている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	54.1%	
		成果指標13-2-2	市内スポーツ施設を利用したことがある人の割合		<スポーツ課>	市民アンケート「この1年間に市内のスポーツ施設（民間を含む）を利用したことがある」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	15.4%	
		成果指標13-2-3	全国大会出場団体・個人数		<スポーツ課>	1年間に行われたスポーツの全国大会出場以上の激励件数（学校教育関係含む）	212件/年	

第7次総合計画 まちづくり指標・成果指標一覧

参考資料

めざまち	施策	まちづくり指標	単位施策	成果指標	主管課 【施策】 《まちづくり指標案》 [単位施策] <成果指標案>	主管課	算出方法	基準値 (R4)
	施策14				文化芸術の推進	【文化芸術課】		
		まちづくり指標19			文化芸術活動を複数回鑑賞したことがある人の割合	<文化芸術課>	市民アンケート「この1年間に芸術劇場等で複数回文化芸術活動を鑑賞した」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	12.9%
		まちづくり指標20			文化芸術活動が盛んなまちであると感じる人の割合	<文化芸術課>	市民アンケート「文化芸術活動が盛んなまちである」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	37.9%
			単位施策14-1		質の高い文化芸術に親しむ環境を提供する	[文化芸術課]		
				成果指標14-1-1	芸術劇場友の会会員数	<文化芸術課>	年度末(3/31)時点の芸術劇場友の会会員数	8,622人
				成果指標14-1-2	芸術劇場及び創造の社交館で行われる文化芸術事業の参加者数	<文化芸術課>	芸術劇場及び創造の社交館で行われる文化芸術事業の年間参加者数(鑑賞を含む) ※基準値(令和4年度)には、旧文化センターにおける参加者数を加算しているもの。	123,969人/年
				成果指標14-1-3	この1年間に芸術劇場を訪れたことのある人の割合	<管理課>	市民アンケート「この1年間に芸術劇場を訪れたことがある」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	27.6%
			単位施策14-2		文化芸術活動の担い手を育成・支援する	[文化芸術課]		
				成果指標14-2-1	市民による文化芸術活動の開催数	<文化芸術課>	文化施設などで市民が自主的に実施した文化芸術活動の年間開催回数 【芸術劇場、創造の社交館、上野公民館、地区公民館・市民館、コミュニティセンター、市役所、しあわせ村、市民活動センター】 ※基準値(令和4年度)には、旧文化センターにおける開催回数を加算しているもの。	3,526回/年
				成果指標14-2-2	文化芸術の実演活動に取り組んでいる人の割合	<文化芸術課>	市民アンケート「この1年間に文化芸術に関する実演活動に取り組んだ」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	※R5市民アンケートで取得
	施策15				郷土の歴史・伝統文化・文化財の継承と振興	【社会教育課】		
		まちづくり指標21			市の歴史や伝統文化について知っている項目数	<社会教育課>	市民アンケート「東海市に関する歴史や伝統文化について知っている」で全16項目数のうち「○」をつけた項目数/アンケート回答総数	2.7項目/人
			単位施策15-1		伝統文化や文化財の保存及び継承を支援する	[社会教育課]		
				成果指標15-1-1	指定文化財のき損、滅失、亡失、盗難件数	<社会教育課>	1年間の国・県への進達及び市へ報告のあった指定文化財滅失、き損、亡失、盗難の届出件数	0件/年
			単位施策15-2		郷土の歴史や文化に親しむ機会を提供する	[社会教育課]		
				成果指標15-2-1	平洲記念館・郷土資料館の利用者数	<社会教育課>	平洲記念館・郷土資料館の年間来館者数	4,749人/年
				成果指標15-2-2	郷土の歴史などに関わる講座・講演会の参加者数	<社会教育課>	市が主催・共催する歴史講座、文化財講座、現地説明会、平洲出前講座(歴史関係に限る)の年間参加者数	341人/年

第7次総合計画 まちづくり指標・成果指標一覧

参考資料

め ざ ま ち	施策	まち づ く り 指 標	単 位 施 策	成 果 指 標	主管課 【施策】 <<まちづくり指標案>> [単位施策] <成果指標案>	主管課	算出方法	基準値 (R4)
めざすまちの姿5 安心・安全で快適に暮らせる都市機能が充実している								
施策16 防災・減災対策の推進						【防災危機管理課】		
まちづくり指標22 市民、地域、企業、行政が連携し、災害時に備えていると思う人の割合						<<防災危機管理課>>	市民アンケート「市民、地域、企業、行政が連携して災害時に備えている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	57.3%
単位施策16-1 市民の防災減災意識を向上させる						[防災危機管理課]		
成果指標16-1-1 日頃から防災・減災に向けての備えをしている項目数						<防災危機管理課>	市民アンケート「災害に備えて取り組んでいる」で全13項目数のうち「○」をつけた項目数/アンケート回答総数	2.3個/人
成果指標16-1-2 市が提供する災害情報入手方法を知っている項目数						<防災危機管理課>	市民アンケート「災害情報の入手方法を知っている」で全10項目数のうち「○」をつけた項目数/アンケート回答総数	1.8個/人
単位施策16-2 地域の防災力を強化する						[防災危機管理課]		
成果指標16-2-1 地域防災訓練の実施割合						<防災危機管理課>	1年間で地域防災訓練を実施したコミュニティ数/全コミュニティ数(12コミュニティ)×100	75.0%
単位施策16-3 行政の防災・減災体制を充実させる						[防災危機管理課]		
成果指標16-3-1 災害時に必要な物品の備蓄率						<防災危機管理課>	備蓄数量を達成している品目数/備蓄目標が設定されている品目数×100	91.7%
成果指標16-3-2 災害協定締結数						<防災危機管理課>	災害発生時に市の災害復旧に協力するために締結している協定数の累計	131件
単位施策16-4 浸水被害を軽減させる						[土木課]		
成果指標16-4-1 雨水幹線の整備率						<下水道課>	雨水幹線の整備済み延長/下水道基本計画で位置付けた雨水幹線延長×100	83.5%
施策17 消防・救急体制の充実						【消防本部】		
まちづくり指標23 消防・救急体制に安心感を持っている人の割合						<<消防本部>>	市民アンケート「消防・救急体制が整備され安心して生活ができる」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	77.3%
単位施策17-1 防火対策を推進する						[消防本部]		
成果指標17-1-1 高齢者世帯への防火指導実施率						<消防本部>	この1年間で75歳以上の高齢者世帯に防火指導を実施した件数(留守宅などへの訪問も含む)/当該年度の実施予定件数×100	97.9%
成果指標17-1-2 防火対象物への立入検査実施率						<消防本部>	この1年間で事業所などの防火対象物への立入検査を実施した件数/当該年度の実施予定件数×100	49.4%
単位施策17-2 消防・救助体制を強化する						[消防本部]		
成果指標17-2-1 住宅火災における火災現場到着から放水開始までの時間						<消防本部>	住宅火災における1年間で消防隊現場到着から放水開始までにかかった延べ時間/年間住宅火災件数	4分/(件・年)
成果指標17-2-2 消防団員充足率						<消防本部>	消防団員数/「東海市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例」に規定された消防団員の定員数×100	93.9%
単位施策17-3 救急・救命体制を強化する						[消防本部]		
成果指標17-3-1 救急隊現場到着時間						<消防本部>	1年間で指令から救急隊現場到着までにかかった延べ時間/年間救急件数	6分36秒/(件・年)
成果指標17-3-2 救急救命士の充足率						<消防本部>	運用救急救命士数/救急救命士養成計画に基づいた運用救急救命士必要数×100	80.0%
成果指標17-3-3 救命講習の参加者数						<消防本部>	1年間で実施された上級・普通救命講習の参加者数	687人/年
施策18 暮らしの安全対策の推進						【交通防犯課】		
まちづくり指標24 交通事故に対する不安がなく安全に生活できると思う人の割合						<<交通防犯課>>	市民アンケート「交通事故に対する不安がなく、安心して生活ができる」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	40.0%
まちづくり指標25 犯罪に対する不安がなく安全に生活できると思う人の割合						<<交通防犯課>>	市民アンケート「犯罪に対する不安がなく、安心して生活ができる」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	47.2%
単位施策18-1 交通安全意識を向上させる						[交通防犯課]		
成果指標18-1-1 市内における人身事故発生件数						<交通防犯課>	1年間に市内で発生した人身事故件数	256件/年
単位施策18-2 道路の安全性を向上させる						[交通防犯課]		
成果指標18-2-1 ガードレールやカーブミラーなどの安全対策が整っていると思う人の割合						<交通防犯課>	市民アンケート「ガードレールやカーブミラーなどの安全対策が整っている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	50.0%
単位施策18-3 防犯対策を推進する						[交通防犯課]		
成果指標18-3-1 市内における犯罪発生件数						<交通防犯課>	1年間に市内で発生した刑法犯の認知件数	440件/年
単位施策18-4 安全な消費生活を支援する						[商工労政課]		
成果指標18-4-1 消費生活に関するトラブルへの対応策を知っている人の割合						<商工労政課>	市民アンケート「消費生活に関するトラブルを解決する方策を知っている」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	52.4%

第7次総合計画 まちづくり指標・成果指標一覧

参考資料

めざまち	施策	まちづくり指標	単位施策	成果指標	主管課 【施策】 《まちづくり指標案》 [単位施策] <成果指標案>	主管課	算出方法	基準値 (R4)
	施策19					【都市計画課】		
		まちづくり指標26		自宅周辺が住みやすい場所(所)であると思う人の割合		《都市計画課》	市民アンケート「まちなみが整っており自宅周辺が住みやすい場所(所)である」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	65.3%
		まちづくり指標27		鉄道駅の概ね1km圏内の人口		《都市計画課》	市内鉄道駅9駅(加木屋中ノ池駅含む)の概ね半径1km圏内の居住人口	70,055人
			単位施策19-1	良好な都市空間を形成する		[都市計画課]		
				成果指標19-1-1 住居、農地、店舗、工場などが整然としていると思う人の割合		<都市計画課>	市民アンケート「住居、農地、店舗、工場などが整然としている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート総数×100	67.0%
				成果指標19-1-2 住環境が整備され、快適な生活が確保されていると思う人の割合		<都市計画課>	市民アンケート「住環境が整備され快適な生活が確保されている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	67.1%
			単位施策19-2	魅力的な市街地を整備する		[市街地整備課]		
				成果指標19-2-1 土地区画整理事業施行区域内人口		<市街地整備課>	土地区画整理事業施行済及び施工中の区域内の定住人口	29,442人
				成果指標19-2-2 土地区画整理事業施行区域内の土地の有効利用率		<市街地整備課>	現況宅地(建築物、駐車場、鉄道用地等面積)/宅地(施行面積-公共用地-生産緑地等)×100 ※土地区画整理事業施行済及び施工中の区域内を対象	72.5%
			単位施策19-3	安心して暮らせる住まいの確保を推進する		[建築住宅課]		
				成果指標19-3-1 暮らしている住まいに満足している人の割合		<建築住宅課>	市民アンケート「自分が暮らしている住まいに満足している」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	75.5%
				成果指標19-3-2 長期優良住宅の認定戸数		<建築住宅課>	長期優良住宅認定制度創設以降に認定された市内の住宅戸数の累計	3,094戸
	施策20					【土木課】		
		まちづくり指標28		市内・市外への移動が円滑にできる環境が整っていると思う人の割合		《土木課》	市民アンケート「電車、バス、自家用車、自転車などを利用して、市内や市外へ円滑に移動できる」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	68.7%
			単位施策20-1	利便性の高い公共交通ネットワークを充実させる		[交通防犯課]		
				成果指標20-1-1 らんらんバスの年間利用者数		<交通防犯課>	らんらんバスの年間利用者数	307,202人/年
				成果指標20-1-2 1日当たりの鉄道駅乗降客数		<交通防犯課>	市内鉄道駅における年間乗降客数/1年	48,566人/日
			単位施策20-2	移動がしやすい道路をつくる		[土木課]		
				成果指標20-2-1 幹線・補助幹線道路の整備率		<土木課>	幹線・補助幹線道路の整備済延長/幹線・補助幹線道路総延長×100	70.3%
			単位施策20-3	道路施設の適切な維持管理を推進する		[土木課]		
				成果指標20-3-1 幹線・補助幹線道路の劣化割合		<土木課>	道路の劣化状況におけるレベル5~7の幹線・補助幹線道路の延長/幹線・補助幹線道路総延長×100 ※道路の凹凸やクラック(亀裂、ひび割れ)の状況を7段階で表した際、状況の悪いレベル5~7を算出の対象とするもの。	10.3%
				成果指標20-3-2 長寿命化した橋りょうの割合		<土木課>	長寿命化した橋りょう数/事業対象橋りょう数×100	32.7%
				成果指標20-3-3 耐震補強した橋りょうの割合		<土木課>	耐震補強した橋りょう数/事業対象橋りょう数×100	44.9%
	施策21					【花と緑の推進課】		
		まちづくり指標29		花や緑が豊かなまちであると思う人の割合		《花と緑の推進課》	市民アンケート「花や緑が豊かなまちである」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	73.2%
			単位施策21-1	魅力ある公園・緑地整備を推進する		[花と緑の推進課]		
				成果指標21-1-1 長寿命化計画に基づき更新した公園施設の割合		<花と緑の推進課>	更新した公園施設数/長寿命化計画で位置付けた公園施設数	0%
				成果指標21-1-2 一人当たりの公園面積		<花と緑の推進課>	都市公園面積/人口	11.06㎡/人
			単位施策21-2	花と緑にあふれたまちを形成する		[花と緑の推進課]		
				成果指標21-2-1 地域で管理する花壇に植えた花苗の株数		<花と緑の推進課>	1年間で花と緑いっぱいのもちづくり事業によりコミュニティなどへ配布した花苗の株数	19,752株/年
				成果指標21-2-2 花や緑を育てる、飾るなど、花や緑が身近にある生活を送っている人の割合		<花と緑の推進課>	市民アンケート「この1年間に花や緑を育てたり、花や緑を飾ったりした」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	59.0%
	施策22					【経営課】		
		まちづくり指標30		水道水の使用について、安心して利用できている人の割合		《水道課》	市民アンケート「水道水を安定して利用できる」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	87.9%
		まちづくり指標31		污水处理体制に安心感を持っている人の割合		《下水道課》	市民アンケート「下水道施設での污水处理に不安がなく、安心して排水できる」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	85.4%
			単位施策22-1	水道水の安定供給を推進する		[水道課]		
				成果指標22-1-1 基幹管路の耐震適合率		<水道課>	(耐震管延長+耐震適合管延長)/基幹管路延長×100	60.4%
				成果指標22-1-2 経常収支比率(水道事業)		<経営課>	水道事業会計における経常収益/経常費用×100	102.5%
			単位施策22-2	汚水の適切な処理を推進する		[下水道課]		
				成果指標22-2-1 汚水管の整備率		<下水道課>	汚水管整備済面積/下水道基本計画で位置付けた汚水管整備面積×100	82.8%
				成果指標22-2-2 経常収支比率(下水道事業)		<経営課>	下水道事業会計における経常収益/経常費用×100	94.0%

第7次総合計画 まちづくり指標・成果指標一覧

参考資料

めざまち	施策	まちづくり指標	単位施策	成果指標	主管課 【施策】 <<まちづくり指標案>> [単位施策] <<成果指標案>>	主管課	算出方法	基準値 (R4)
行政推進項目								
行政推進項目1 効果的な行政運営を推進する						[企画政策課]		
				行政推進指標99-1-1 まちづくり指標の向上割合	<企画政策課>		基準値から改善したまちづくり指標数/まちづくり指標総数×100	0%
				行政推進指標99-1-2 成果志向やPDCAサイクルが実践されていると思う職員の割合	<企画政策課>		職員アンケート「あなたの職場（課等）では、PDCAサイクルにより、施策・単位施策が推進されていると思いますか」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市職員の数/アンケート回答総数×100	63.5%
				行政推進指標99-1-3 公共施設などの整備・運営にかかる官民連携件数	<企画政策課>		PFI手法または指定管理者制度により整備、運営された公共施設件数	93件（施設）
行政推進項目2 健全な財政運営を行う						[財政課]		
				行政推進指標99-2-1 経常収支比率	<財政課>		経常経費充当一般財源の額/（経常一般財源の額+減税補てん債+臨時財政対策債）×100（普通会計 決算ベース）	82.5%
				行政推進指標99-2-2 将来負担比率	<財政課>		（将来負担額-充当可能財源等）/（標準財政規模-算入公債費等の額）×100（決算ベース）	3.8%
				行政推進指標99-2-3 市税収納率（現年度分）	<収納課>		（市税現年分収入額-市税現年分未還付分）÷市税現年分調定額×100	99.6%
行政推進項目3 自治体DXを推進する						[デジタル推進課]		
				行政推進指標99-3-1 日常生活でインターネットなどのデジタル技術を活用したサービスを利用している人の割合	<デジタル推進課>		市民アンケート「日常生活でインターネットなどのデジタル技術を活用したサービスを利用している」で「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	※R5市民アンケートで取得
				行政推進指標99-3-2 オンライン化されている行政手続数	<デジタル推進課>		マイナポータルびったりサービスのオンライン手続数、あいち電子申請・届出システムの手続数、その他汎用的システムを活用したオンライン手続数の合計手続数	292件/年
				行政推進指標99-3-3 デジタル技術を活用した業務改善の導入事例数	<デジタル推進課>		AI-OCR、RPAの導入業務数、ICTツール・システム導入により効率化が図られた業務数（令和4年度からの累計）	64件
行政推進項目4 より良い職場づくりと人材育成を推進する						[職員課]		
				行政推進指標99-4-1 高度化・多様化する市民ニーズに対して、知識や能力習得が充分であると思う職員の割合	<職員課>		職員アンケート「あなたは、市民ニーズに対応した行政サービスを行うにあたって、知識、ノウハウ、スキルを習得・獲得できていますか」で「知識等が十分に習得・獲得し、新たな市民ニーズにも対応できている」「どちらかといえば知識等を習得・獲得し、新たな市民ニーズにも対応できている」と回答した市職員の数/アンケート回答総数×100	66.2%
				行政推進指標99-4-2 年次有給休暇平均取得日数	<職員課>		常勤職員1人当たりの1年間の年次有給休暇の取得日数	15.3日/年
				行政推進指標99-4-3 超過勤務平均時間数	<職員課>		常勤職員1人当たりの1か月の超過勤務の時間数（超過勤務には振替、休日、夜間は除く）	14.4時間/月
行政推進項目5 情報の収集と発信を推進する						[広報課]		
				行政推進指標99-5-1 市からの情報提供が充足している人の割合	<広報課>		市民アンケート「生活や市に関する情報提供の'質'（量、タイミング）について充足している（満足している）」で（質「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数+量「そう思う」「どちらかといえばそう思う」/アンケート回答総数+タイミング「そう思う」「どちらかといえばそう思う」/アンケート回答総数）×100÷3	54.7%
				行政推進指標99-5-2 市民の意見が市に届いている・反映されていると思う人の割合	<広報課>		市民アンケート「市民の声が、市政に届いている、反映されていると思う」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	42.5%
				行政推進指標99-5-3 市に愛着を持っている人の割合	<広報課>		市民アンケート「東海市に愛着を持っている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100	79.2%

総合計画審議会 部会で出された主な意見

(1) 基本計画について

No.	部会	開催回	発言者	ページ	項目	意見内容
1	第1部会	第2回	千頭委員	7	土地利用構想図	実際の市境が分かる土地利用構想図で示す場合は難しいかもしれないが、南北のゾーニングだけでなく、例えば「大田インター～太田川駅～大田小学校」にかかる緑や歩行者の軸、「公立西知多総合病院～新駅」などの東西の軸を、結節点となる交差点なども明記しながら示すことも検討してはどうか。
2	第2部会	第2回	谷口委員			太田川駅周辺の「都市拠点・広域交流拠点」について、現時点でも駅周辺の空間を十分使いこなせているように見えない。そこに加えて更に空間をつくっていくのは、過剰ではないかを感じる。そのため、これまでとは異なった切り口で活用方法を検討できるとよいのではないか。
3	第2部会	第2回	森本委員 (前任委員)			伊勢湾岸自動車道北側の緑陽公園の整備などについて記載がなく、現在記載されている拠点だけだと、一見、市の北側は何も発展していかないように見えるため、今後も当該公園整備などを進めていくのであれば、それが分かるよう図に記載したほうがよいのではないか。
4	第2部会	第2回	北川委員	11	SDGsとの関係性	近年策定された他の自治体の総合計画のなかには、総合計画の名称に「SDGs推進計画」などと記載したものもあることから、SDGsに対する認識と取り組みの姿勢をもう少し表現できるとよいのではないか。
5	第2部会	第3回	谷口委員			SDGsの目標年次が2030年であり、総合計画の計画年次より早いため、5年後の中間見直しで検討するのであれば、その旨を基本計画に記載すべきであると考えます。

(2) 分野別計画について

子ども・子育て分野

No.	部会	開催回	発言者	ページ	関連施策	意見内容
1	第1部会	第2回	坂野委員	3	施策1「子どもや子育て世代への支援」	まちづくり指標が、両指標とも子育て世代を対象とした指標となっている。そのため、子ども自身がどう感じているか分かる指標もあるとよいのではないか。
2	第1部会	第2回	井上委員			国でも異次元の少子化対策において保育士の配置基準の見直しや、2026年度から全国で実施が予定されている「こども誰でも通園制度（仮称）」など、子育て施策については、大きく変わっていくことが予想される。そのため、このような全国的な流れを踏まえた取り組みを市においても検討を進めてほしい。
3	第1部会	第2回	井上委員			単位施策1-2「多様なニーズに対応した保育を提供する」について、保育園から小学校へ進学した際、発達障害の子どもたちがどのような症状を持っているかという情報は小学校には共有されるが、放課後児童クラブには共有されない。そのため、放課後児童クラブの指導員から、そのような事前情報があるかないかで子どもへの対応も変わるため、情報共有されないことに対して困っていると聞く。子どもの特性を理解することは重要で、子どもの精神安定にも繋がると考えることから、それらの対応について検討してほしい。
4	第1部会	第2回	久野久行委員			単位施策1-2「多様なニーズに対応した保育を提供する」について、放課後児童クラブは、子どもの放課後の居場所として活用されているものであることから、単位施策1-2ではなく、単位施策1-3「子どもや子育て世代が安心できる居場所づくりを推進する」の方が、放課後児童クラブに関する取り組みは適しているのではないか。
5	第1部会	第2回	千頭委員			他市町においては、小学校で放課後児童クラブを開設している事例は少ないが、東海市においては小学校で開設されており、子どもたちにとっては良いことであると考え。学校教育と放課後児童クラブを直結して記載することは難しいと思うが、文科省と厚労省で管轄が違うことを、東海市では上手く取り組んでいるということが見えるような表現を記載できるとよいのではないか。
6	第1部会	第2回	中村委員			保育事業協会では、保育園と幼稚園が一緒になり、研修を受けたり、様々な問題に対して議論を行っている。このように、東海市では、全国に先駆けて保育園と幼稚園が一緒になり活動するという試みをずいぶん前から実施しているが、市民にはあまり知られていないため、広く知ってほしいという思いがある。
7	第1部会	第2回	坂野委員			単位施策1-2「多様なニーズに対応した保育を提供する」の実施手段に「公立と民間それぞれの特徴を生かした保育の提供」とあるが、公立と民間それぞれの情報を市役所が一元化し、提供してもらえると利用者は有難い。また、小学校区外にある幼稚園などに通園している場合、幼稚園と小学校の連携が取りづらいといった状況がある。そのため、今後はますます民間を選択する人も増えてくると考えるため、小学校と幼稚園・保育園の連携を強化してほしい。

8	第1部会	第2回	坂野委員	4	施策2「子どもの学び・体験への支援」	単位施策2-3「子どもが安心安全で快適に学ぶことができる環境を整備する」の成果指標に「学校施設の長寿命化改修率」があるが、第6次総合計画の市民アンケート指標「学校は、安心して学習できる環境が整っていると思う保護者の割合」も追加したらよいのではないか。
9	第1部会	第3回	千頭委員			単位施策2-2「悩みを抱える子どもに寄り添った支援を充実させる」の成果指標に「自己肯定感を持っている児童生徒の割合」があるが、この指標が、アンケートで「自分にはよいところがあると思う」という設問になっている。自己肯定感はずしもいいところだけでなく、自分の出来ない事や弱みを自身で認めることも自己肯定感と言えらと考える。そのため、アンケートの設問について検討したほうがよいのではないか。
10	第1部会	第3回	坂野委員			単位施策2-3「子どもが安心安全で快適に学ぶことができる環境を整備する」の成果指標 学校施設の長寿命化改修率について、計画が変更になる要因もあることから、計画に対する進捗だけでなく、学校の現状を確認したうえで対応していくべきであると考えら。

環境・経済分野

No.	部会	開催回	発言者	ページ	関連施策	意見内容
1	第2部会	第3回	蔵満委員	6	施策3「生活環境の保全」	まちづくり指標の「降下ばいじん量」のめざそう値の達成に向けて、今後産業道路の6車線化などからの粉じんなどの影響も想定されるが、やはり臨海部の企業の協力が不可欠であると考えます。
2	第2部会	第2回	谷口委員	7	施策4「自然と共生する持続可能な社会の実現」	単位施策4-1「温室効果ガス削減に向けた取り組みを推進する」について、市内で発生する温室効果ガスを抑制するだけでなく、産業道路などにおける通過交通もあるなか、全国的にも先進的な取り組みとして、市外の人々が排出するものに対する取り組みができるかよいのではないかと考える。
3	第2部会	第3回	蔵満委員			東海市はゼロカーボンシティ宣言をしていることから、ゼロカーボンシティの実現に向けて推進していくことを答申で触れるべきではないかと考える。
4	第1部会	第3回	加藤委員			基本方針に「環境について学ぶ機会を充実させ、市民や事業者の環境意識の向上に取り組めます。」とあるが、学ぶ機会を提供するだけでなく、参加してもらえよう促すことも必要であることから、そのような記述を追記すべきではないかと考える。
5	第2部会	第1回	蟹江委員	8	施策5「魅力ある農業の振興」	日本はもともと食料自給率が低いという状況にあるなか、昨今の円安などの影響を受けて、これまで以上に農業に視点を向けるべきである。特に、耕作放棄地や担い手がないという課題があるため、このような視点も計画に明記できると良い。
6	第2部会	第1回	森岡委員			海外から種子種苗等が入ってこなくなるなど、日本の農業では将来的に何かがあった際に、自国で食料を賄うことができない。このことにも関わらず、努力はしているものの農業者の高齢化は進んでいる。補助金などによる支援も必要だが、一方で、それにより経営の弱体化に繋がったということもあるのではないだろうか。市においても農業に対して様々な取り組みを多岐にわたって考えることが大切であると考えます。
7	第2部会	第2回	山田委員			まちづくり指標「東海市産の農産物を意識して購入している人の割合」があるが、直売所を除けば、そもそも、どこに行けば東海市産の農産物を購入できるのか分からない。東海市産にこだわりたくてもこだわれないという状況もあるのではないかと考える。指標数値を向上させるには、そのような視点も重要であると考えます。
8	第2部会	第2回	近藤功委員 (前任委員)			市内の農産物を意識して購入するという視点に関して、後継者が育てた農産物を学校給食で使用し、「〇〇さんが作った 〇〇を使用」とPRするなど、子どもたちに対するPRも効果的であると考えます。
9	第2部会	第2回	北川委員			今後も、農業センターを活用し、農業の魅力発信をはじめ、農業の振興を図っていくのであれば、東海市独自の農業拠点施設である農業センターに言及した表現の記載を検討してはどうか。
10	第2部会	第3回	谷口委員			農産物を地元のものを買うのではなく貰う習慣がある。まちづくり指標の「東海市産の農産物を意識して購入している人の割合」について購入となると指標が上がらばいいのではないかと考える。
11	第2部会	第3回	木下委員			一般的にはスーパーなどで購入すると愛知県産となるため、ブランド化としてみかんにへいしゅうくんのマークが着いていたりすると東海市産としての認識が上がる。そのため、このような東海市産をどうやってPRしていくのが今後の課題であると考えます。
12	第2部会	第3回	松田委員			単位施策5-2「農業経営を支援する」について農業拠点施設として農業センターを記載するのであれば、農業センターを用語の解説に加えるべきであると考えます。

13	第2部会	第2回	谷口委員	9 施策6「活力ある商工業の振興」	単位施策6-1「商工業の活性化を推進する」について、商工会議所などと連携して創業支援を図るという記載はあるが、現実的にスタートアップに繋げていくには人を育てるという視点が必要なのではないかと考える。例えば、高校や大学と連携し、学生に対して東海市に必要な産業を考える機会を設けるなどの踏み込んだ内容が記載されていないため、他市町と同じような記載内容にしかかたっていないように感じる。また、高校生が進学などで市を離れたとしても、就職の際には東海市に戻ってきたいと思う人が増えるような教育を、市や商工会議所、大学などが支援する事業スキームを検討してほしい。
14	第2部会	第2回	谷口委員		単位施策6-2「観光資源の魅力を向上させ、観光交流を推進する」について、イベントは一時的なカンフル剤であるとする。まちのにぎわいを維持するためには、日常的に利用できる飲食の場などが充実していることなどが重要であるとするため、もう少し具体的な内容を検討してほしい。
15	第2部会	第2回	蔵満委員		単位施策6-3「働きやすい労働環境を支援する」について、企業の職場環境の改善に行政が介入するのは難しいとする。そのため、働きやすさには就職しやすい環境を整えるという視点も重要ではないかと考えるため、引き続き取り組んでほしい。
16	第2部会	第2回	北川委員		まちづくり指標「法人市民税収入額」は、全国的な景気動向に左右されるものであるとするため、10年後の計画最終年度が景気の悪い年となると、指標数値をものさしとして施策を評価することが困難になってしまうのではないかと考える。
17	第2部会	第3回	松田委員		単位施策6-1「商工業の活性化を推進する」について、「東海市中小企業振興基本条例」の条例内容について用語の解説に加えるべきであるとする。
18	第2部会	第3回	谷口委員		交流人口を増やすために、県も活用しているがイベント等でこのまちの人がどうやって東海市に入ってきたなどが分かる市町村しか使用できないビックデータがある。知多半島観光圏協議会でも活用していることから客観的なデータであるビックデータを活用すべきであるとする。

地域づくり分野

No.	部会	開催回	発言者	ページ	関連施策	意見内容
1	第1部会	第1回	井上委員	12	施策8「高齢者福祉の充実」	高齢者福祉において、一番の課題は認知症対策であることから、認知症に対する理解促進や認知症の人が通常どおり社会生活を営むことができるような環境整備など、具体的な取り組みを推進していく必要がある。
2	第1部会	第2回	坂野委員			「住み慣れた地域で」という表現が両施策で使用されているが、呼び寄せ介護のケースや、東海市の高齢者や障害者に対する福祉サービスが充実しているから、東海市に転入してくるということもあると考えるため、「住み慣れた地域」という表現は適さないのではないかと考える。
3	第1部会	第1回	井上委員	13	施策9「障害者福祉の充実」	単位施策9-2「障害者の社会参加を促進する」について、障害者が充実感を覚えるのは「就労」であるということを知った。そのため、障害者福祉を就労に結びつけるという具体的な取り組みを推進していく必要がある。
4	第1部会	第1回	鬼丸委員			障害者福祉について、日中の活動ができて、週末の活動が不足しているということをよく聞く。行政だけでなく市全体で高齢者や障害者を支えられるようなヘルパー養成の制度などを整えてほしい。
5	第1部会	第2回	千頭委員			障害者の「害」の字について、東海市は法律上の表記にあわせ、漢字表記にしているとのことだが、多くの人から、ひらがな表記のほうがよいと指摘があるため、表記の変更を検討してほしい。
6	第1部会	第1回	辻委員 (前任委員)	14	施策10「協働と尊重による地域社会づくりの推進」	コミュニティごとで町内会の加入率や年齢構成等が異なり、各コミュニティの状況は様々である。現在でも、コミュニティの運営方針について、町内会から反発があるという話も聞けなく、コミュニティに頼られすぎても困るし、対応できるコミュニティとそうでないコミュニティがあると思う。今後はコミュニティの役員の成り手がいるのか心配であり、役員の負担をどのようにしていくか考えてほしい。
7	第1部会	第1回	加藤委員			地域住民の交流や若い人の参画など、自らのまちをつくりあげていく意識を向上させるための意見交換の場がないため、地域における課題を克服していけるのか懸念している。
8	第1部会	第2回	鈴木委員			「施策・単位施策の目標」の二つ目の「市民が、町内会・自治会活動に参加し、地域活動が活発に行われています」とあるが、町内会の加入率は減る一方であるなか、実態と乖離しすぎた目標であり、言葉だけという印象を受けた。町内会長をはじめ、大変苦労している人がいるなか、「活発」と簡単に書かれていることに対して残念に感じた。
9	第1部会	第2回	井上委員			町内会・自治会の加入率を上げていくことは困難であると思う。子ども会を一度無くした地域において、再度、子ども会を組織したいという声が上がっている。しかし、キャンプのような難しい事業を実施したいわけではなく、単純に地域の人と関わりを持ちたいといった感情からである。そのため、町内会や自治会に関しても、今の時代に合ったあり方に変えていく必要があると思う。
10	第1部会	第2回	坂野委員			町内会・自治会活動への参加を促す一方で、多様性を尊重し、様々な価値観を認め合うということは相反しているように感じる。負担を抱えながら町内会・自治会活動を行っている人が多いと感じるなか、町内会・自治会が果たす役割は何か、必要な活動を見直し、何を活発にしていくのかを明確にしていくことが必要であると思う。活動のなかでも、草取りや資源回収などは外部に委託するなど、町内会や自治会という単位でなくても果たせる役割があれば、検討してほしい。
11	第1部会	第2回	千頭委員			単位施策10-4「多様性を認め合う社会を推進する」の実施手段の記載について、「外国の文化に対する市民の理解を促進する」という文脈だけでは、外国の歌・踊り・料理などでの国際交流にとどまり、国籍を問わない多様な社会の構築には繋がらないと考えるため、表現の修正を検討してほしい。

健康・生涯学習分野

No.	部会	開催回	発言者	ページ	関連施策	意見内容
1	第1部会	第1回	片山委員	16	施策11「健康づくりの推進」	公立西知多総合病院は東海市と知多市が合同で出資し、運営している。市北地区では、地域のほとんどの医療機関は大同病院と連携していることから、公立西知多総合病院も、一医療機関として考えるのではなく、安心安全な医療が受けられるよう、核となる病院としての役割を果たすべきであると考えている。
2	第1部会	第1回	坂野委員			市内に分娩可能な産婦人科が必ずしもある必要はないと考える。近くにあるに越したことはないが、産婦人科は費用がかかるという話も聞いたことがあり、誘致などに対し費用対効果を示すことができれば市民も納得するのではないかと。分娩可能な産婦人科が市内にないからといって、市外へ転出することにはつながらないと考える。
3	第1部会	第2回	神野委員			単位施策11-2「疾病の早期発見や重症化・介護予防を推進する」に関して、口腔内について意識が高い人は、身体の健康についても意識が高いという印象がある。当単位施策の成果指標「年に1回は健康診断を受けている人の割合」及び成果指標「がん検診を定期的に受けている人の割合」は市民アンケート指標であることから、業務指標として「歯周疾患健診の受診率」を追加してもよいのではないかと考える。
4	第1部会	第2回	千頭委員	18	施策13「スポーツの推進」	「市民・地域・団体・事業者などの役割」において、「地域や学校においてスポーツの指導を受けられる環境づくりに務める」と記載があるが、小中学校の部活動が地域移行していくなか、学校においてスポーツの指導を受けられる環境づくりに、事業者や各種団体が取り組むという内容が分かりづらい。また、「スポーツの指導を受けられる」のは、誰を指しているのか分からないため、表現の修正を検討してほしい。
5	第1部会	第2回	片山委員	19	施策14「文化芸術の推進」	単位施策14-2「文化芸術活動の担い手を支援する」の単位施策名称が、現在既に活動している人に対する支援と読み取れる。しかし、将来担い手となる児童・生徒を対象とした取り組みが大切であり、実施手段には記載があるが単位施策名称からは読み取れないため、単位施策名の表現等の修正を検討してほしい。
6	第1部会	第2回	井上委員	20	施策15「郷土の歴史・伝統文化・文化財の継承と振興」	「横須賀文化の香るまちづくり」について、かつて横須賀御殿が建ち、町屋ができたという歴史的経緯や、横須賀御殿ができたときに三河万歳や尾張漫才が伝わり、新しく東海市に御殿万歳ができたというような歴史的背景がある。これらの歴史を「創造の杜交流館」で啓発していくという考えがあるが、このような歴史を広く市民や子どもたちに伝えていくということに取り組んでいくべきだと考える。また、「横須賀文化の香るまちづくり」については、御洲浜公園と横須賀文化で部署もコミュニティも異なり、横の連携が図られていないことが課題であると感じる。
7	第1部会	第2回	神野委員			単位施策15-2「郷土の歴史や文化に親しむ機会を提供する」について、PTA連絡協議会の総会時に平洲記念館の館長から、平洲記念館をもっと利用してほしいと話があった。このようなことから、未来を担う世代の郷土愛を育むため、児童生徒などに対する平洲記念館の積極的利用を促すような取り組みがあるとよいのではないかと感じた。
8	第1部会	第2回	小嶋委員			平洲先生については郷土の誇る偉人としてよく知られているが、その土地土地で語り継がれている、本当かどうか分からないことなども調べ、次世代に伝えていくことで、昔からこの地域に住んでいる人達は力を合わせてまちをつくってきたということが分かり、市民や行政など多様な主体全体でまちづくりを推進していくという機運の醸成に繋がっていくのではないかと考える。 例えば、大田川もかつては蛇行しており水害に苦しんでいたなか、昔の人が改修工事をして真っすぐになったなど、この土地がつくられてきた歴史などが分かれば教えてほしい。

安心安全・都市基盤分野

No.	部会	開催回	発言者	ページ	関連施策	意見内容
1	第2部会	第3回	北川委員	24	施策17「消防・救急体制の充実」	単位施策17-2の成果指標「住宅火災における火災現場到着から放水開始までの時間」について現場到着から放水開始ではなく、火災現場への到着時間を指標にすべきであると考えます。
2	第2部会	第3回	近藤委員			単位施策17-1「防火対策を推進する」の実施手段において住宅火災警報器の普及促進とあるが、5年の耐用年数が過ぎていることも多く状況を把握することが難しいと考えることから、推進することや評価することが難しいのではないかと考える。
3	第1部会	第2回	坂野委員	25	施策18「暮らしの安全対策の推進」	単位施策18-4「安全な消費生活を支援する」の成果指標について、トラブルが起きる前にいかに防止できたかを図るため、トラブルの件数なども必要ではないか。
4	第2部会	第2回	山田委員			単位施策18-1「交通安全意識を向上させる」の記載内容が、第6次総合計画とあまり代わり映えがしない。学校や地域に対する交通安全教育の記載はあるものの、ドライバーに対する視点（啓発など）の記載がないため、そのような記載があってもよいのではないかと考える。
5	第2部会	第3回	北川委員			単位施策18-3「防犯対策を推進する」の実施手段において、「一戸一灯」運動とあるが、具体的にどのような運動なのか用語の解説が必要であると考えます。また、市民に対してそのような活動が届いていく取り組みが必要であると考えます。
6	第2部会	第3回	北川委員	27	施策20「安全で快適な移動環境の整備」	単位施策20-1「利便性の高い公共交通ネットワークを充実させる」について、「先端技術を取り入れ、環境負荷に配慮した新たなモビリティを活用」とあるが、自動運転など例示を入れた方がよいと考えます。
7	第1部会	第2回	坂野委員	28	施策21「花と緑につつまれたまちの推進」	公園・緑地づくりにあたり、小さな段差、階段など利用者目線での安全・利便性向上は必要と考えることから、「施策・単位施策の目標」に「だれでも利用しやすい」などの表現を記載してはどうか。

行政推進項目

No.	部会	開催回	発言者	ページ	関連項目	意見内容
1	第1部会	第2回	坂野委員	32	3「自治体DXを推進する」	行政推進項目の基本方針に「業務フローをデジタルファーストの視点で再構築する」とあるが、先ずはその業務の必要性などを検討し、業務の見直しをすることが大切であり、デジタルありきの考え方ではよくないのではないか。また、現状と課題に記載の「省力化による業務の効率化」は消極的な表現に感じるため、表現の修正を検討してはどうか。その他、業務の見直しにあたり、オンライン化だけでなく、ワンストップや手続きのわかりやすさなど、市民側の視点も基本方針として、あるとよいのではないかと考える。
2	第2部会	第2回	谷口委員			DX化により業務が効率化されたことで、その分、他の業務を手厚くできるようになったなどの表現が記載されると「省力化」などの消極的なイメージを解消できるのではないかと感じるため、何ができれば使いこなしていることへの認識に違いがあると感じるため、何ができれば使いこなせているのか、何をもちょうでデジタルで様々なサービスが変わるのかなど、具体的に示した方が市民の誤解もなく、デジタル機器を使いこなしていると感じる人も増えるのではないかと考える。
3	第2部会	第2回	北川委員			行政推進項目の基本方針に「デジタル機器の操作に不慣れな市民」に言及した記載があるが、デジタル機器を元々使用できない市民もいるなかで、もう少ししっかりとデジタルデバインド対策について明記する必要があると考える。
4	第1部会	第2回	井上委員			デジタルデバインドの状況がわかる市民アンケート指標を成果指標として追加したほうがよいのではないかと考える。
5	第2部会	第1回	谷口委員	33	5「情報の収集と発信を推進する」	行政が業者に委託して行う「プロが作るシティプロモーション」だけでなく、市民が自ら発信するシティプロモーションの機会もあると、人材育成の場にもなるため、このことが東海市らしさにも繋がっていくと考える。
6	第2部会	第1回	山田委員			東海市の情報発信は市民に届いておらず、そのためにイベントなども盛り上がらない。日々のアクションが大事であると考え、各課でSNSなどの情報発信者を決めて運用するなど、常に情報が届くような仕組みをつくったほうがよいと考える。
7	第2部会	第2回	蔵満委員			単位施策16-1「市民の防災・減災意識を向上させる」の実施手段で「情報の入手方法の啓発」と記載があるが、先日の市内における台風の影響に関する情報は、LINEの配信でいち早く把握することができた。現在のLINEの普及率を考えると、LINEによる情報発信は効果的であるため、市のLINEアカウントを友達登録してもらうための普及啓発活動を、学校や企業などで行うとよいのではないかと考える。